

久山町地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) 概要版

1 計画策定の背景

地球 温暖化

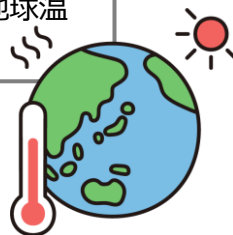
現代の日常生活や経済活動において、私たちは二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスを大量に排出しています。大気中の温室効果ガスが増えた結果、気温が上昇する地球温暖化が引き起こされ、世界中で気象災害の激甚化や頻発化の原因となっています。

世界の 動き

2015年の国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、「**パリ協定**」が採択されました。この協定では、21世紀後半に温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量のバランスをとる「**カーボンニュートラル**」の実現を目指すことが定められ、各国で地球温暖化対策が進められています。

国内の 動き

2020年、日本は**2050年までにカーボンニュートラルを目指す**ことを宣言し、**2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する**という目標を示しました。福岡県地球温暖化対策実行計画においても、国の方針を受けて同様の目標が設定されています。



2 久山町の取組み

「カーボンネガティブ & ネイチャーポジティブ」宣言

久山町は半世紀以上にわたって、「国土」「社会」「人間」の3つの健康づくりを基本理念とし、自然と産業と暮らしの調和したまちづくりを進めてきました。豊かな森林や田園風景を大切な資産として未来に継承していくために、2022年に「**カーボンネガティブ & ネイチャーポジティブ**」を宣言しました。持続可能な脱炭素社会を目指し、自然資源を暮らしの中で消費する仕組みの構築に向けて、町民と行政、企業が一緒にプロジェクトを推進しています。



宣言のロゴマーク



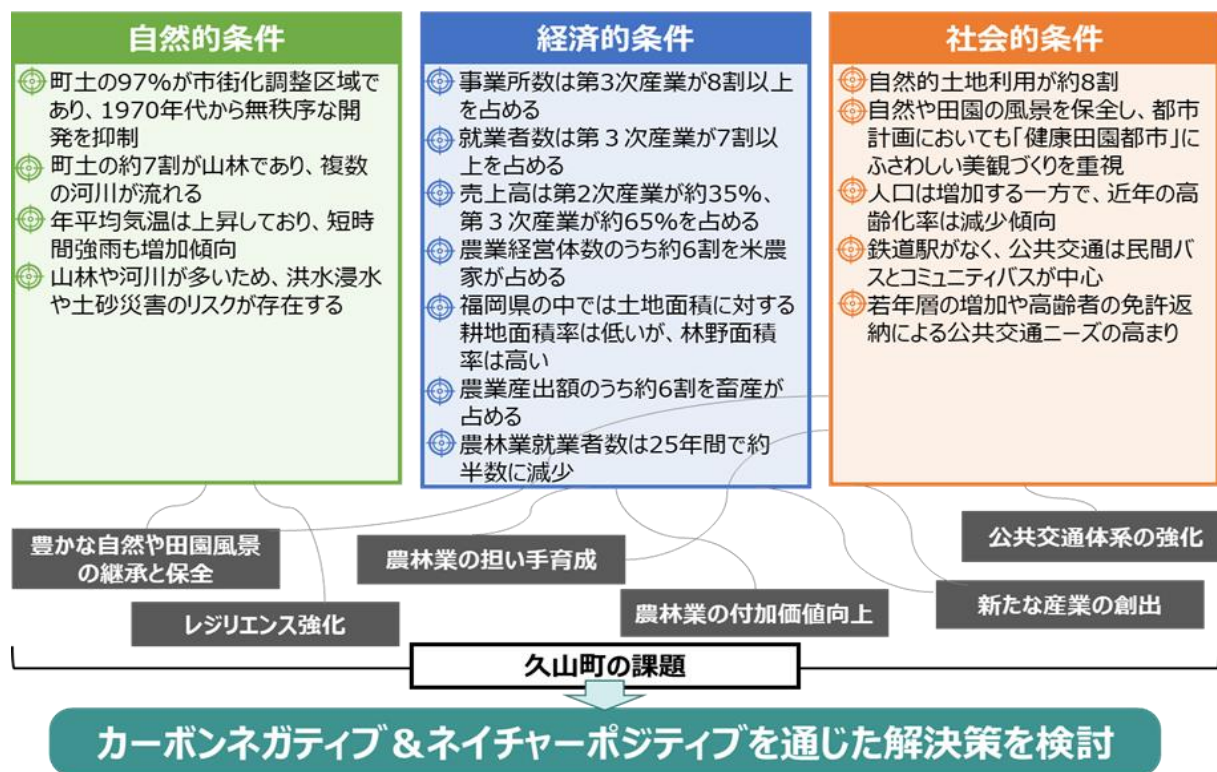
プロジェクトのコンセプト図

「久山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定

地球温暖化対策に関する国内外の動向や、「カーボンネガティブ & ネイチャーポジティブ」宣言をふまえ、**行政、町民、事業者などが協力して取組みを推進するため、「久山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定**します。この計画では、久山町における温室効果ガス排出量の具体的な削減目標や、2030年度を見据えた施策の方向性などを主に定めています。

久山町の地域特性

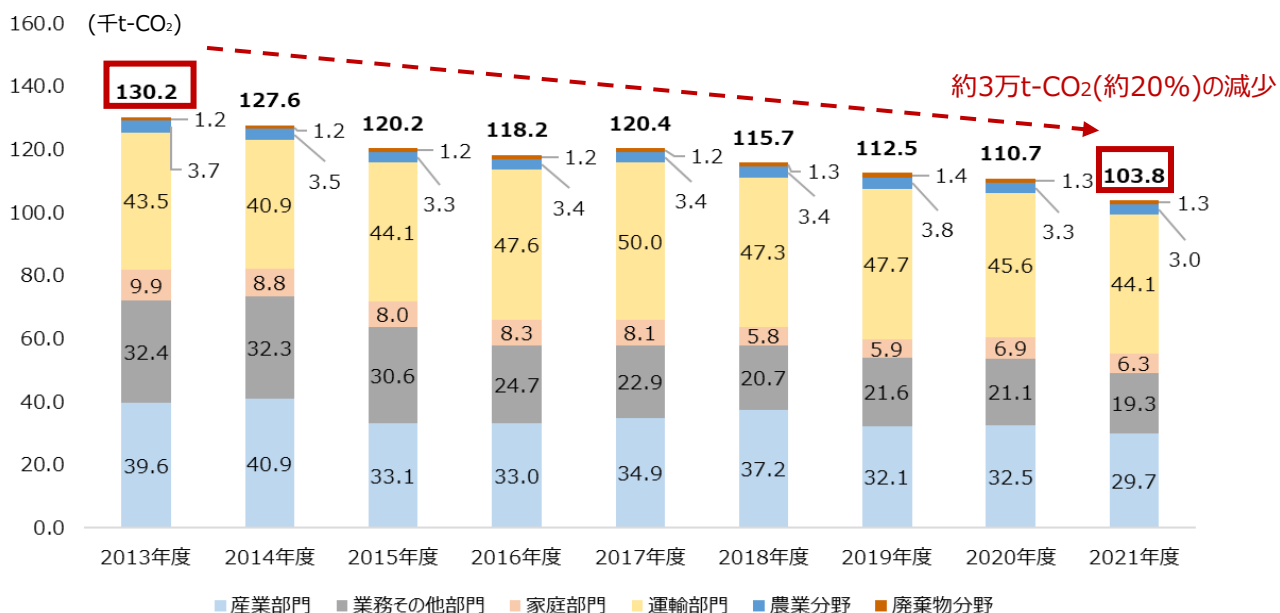
久山町の地域特性を「自然的条件」「経済的条件」「社会的条件」の3つの視点から整理するとともに、地域課題をまとめました。目標設定や施策の方向性の策定においては、「カーボンネガティブ＆ネイチャーポジティブ」の達成に加え、地域課題の解決にもつなげるような取組みを検討しました。



久山町の温室効果ガス排出量

2021年度の久山町の温室効果ガス排出量は約10万t-CO₂であり、基準年度となる2013年度と比較すると約20%減少しています。

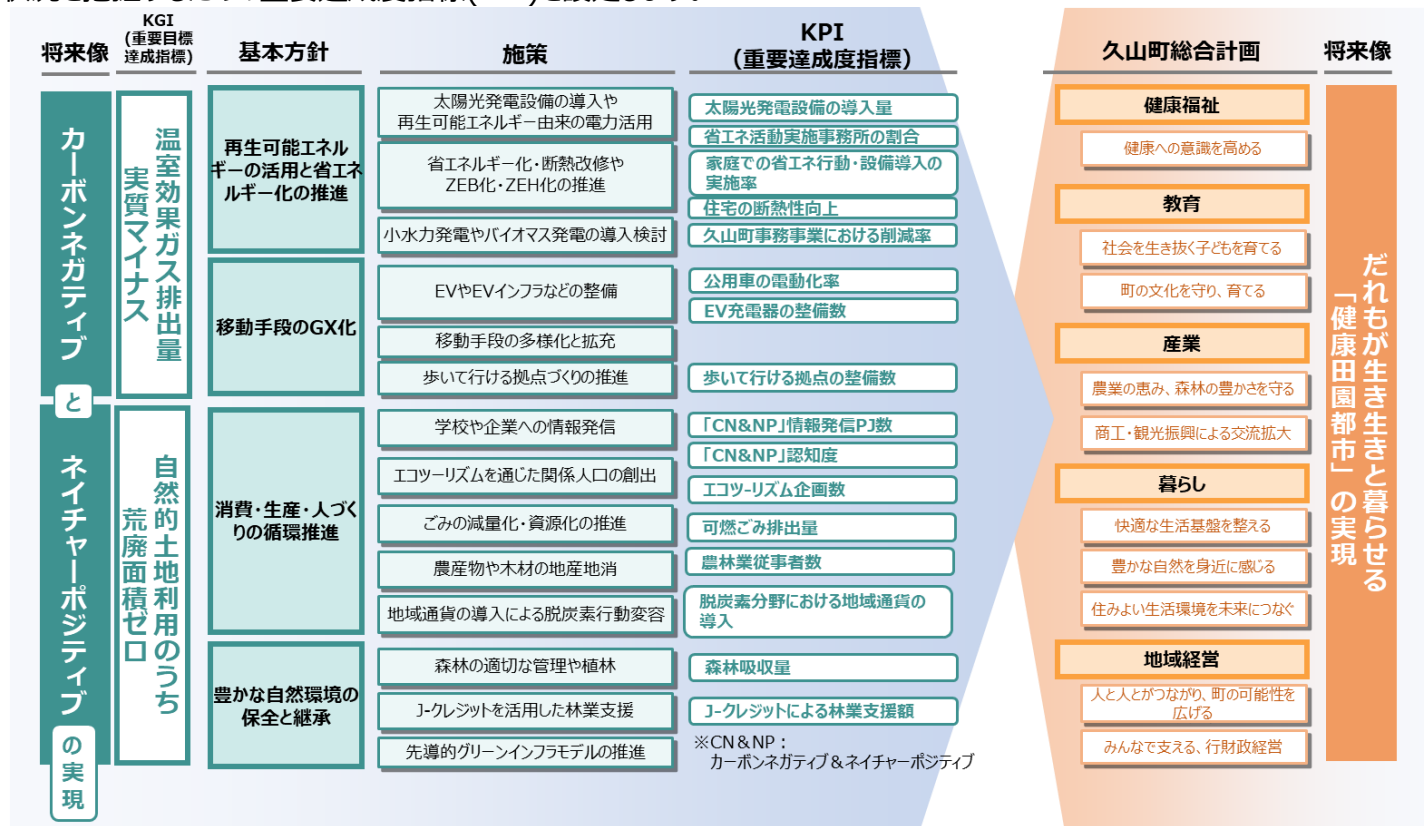
部門・分野別では、産業部門が約25%、業務その他部門と家庭部門が約40%減少しており、電力の低炭素化（全国の再生可能エネルギーの導入拡大など）に伴う電力由来のCO₂排出量の減少が主な要因です。一方で、自動車保有台数の増加に伴い、運輸部門では約2%増えています。



※産業部門・業務その他部門・家庭部門・運輸部門についてはCO₂を算定し、農業分野・廃棄物分野についてはメタンと一酸化二窒素を算定したうえでCO₂排出量に換算しています。

目指す姿

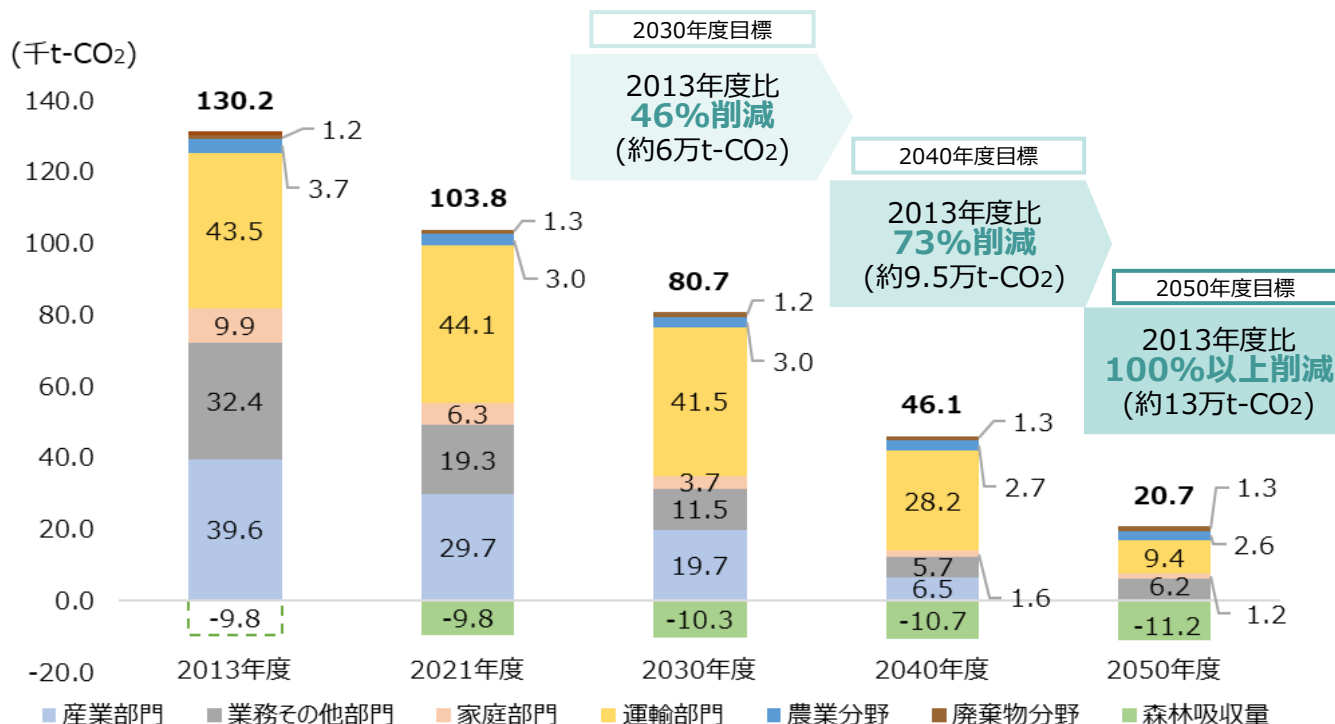
「カーボンネガティブ & ネイチャーポジティブ」の実現を目指す姿とし、この実現のために取り組む施策が、久山町全体の将来像である「誰もが生き生きと暮らせる『健康田園都市』の実現」にも貢献することを目指します。また、計画の進捗状況を把握するための重要達成度指標(KPI)を設定します。



目標設定

脱炭素のための様々な施策に取り組むことにより、将来の温室効果ガス排出量がどのように変化するのかを推計した「脱炭素シナリオ」を作成し、このシナリオを踏まえて削減目標を設定します。

なお、2050年度のカーボンネガティブ（カーボンニュートラル）の目標に向けては、将来の技術革新などにより、現時点でのシナリオ設定からさらに排出量が削減できることで達成可能の見込みです。

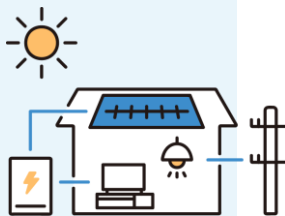


久山町(行政)がリードすること

「カーボンネガティブ＆ネイチャーポジティブ」の実現や、温室効果ガス排出量の削減目標のために、まずは2030年度までに進める具体的な取組みを、4つの基本方針に分けて整理しました。久山町が率先して実施する主な施策を紹介します。

再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化の推進

- ・設置可能な公共施設や町有地の約50%以上に、太陽光発電設備を導入します。
- ・公共施設の照明を100%LED化します。
- ・久山町の自然資源を生かした小水力発電やバイオマス発電を検討します。



移動手段のGX化

- ・公用車の新規導入や更新は、原則としてすべて電動車とします。
- ・地域交通の低炭素化と同時に交通課題の解決を図るため、「グリーンスローモビリティ」や「EVシェアリング」などを検討します。
- ・徒歩や自転車で安全に通行できる環境を整備します。



消費・生産・人づくりの循環推進

- ・「カーボンネガティブ＆ネイチャーポジティブ」宣言のさらなる浸透を目指し、環境教育や情報発信を強化します。
- ・久山町の強みである豊かな自然を発信し、関係人口を増やす手段として、エコツーリズムを検討します。
- ・町内で生産された農産物や木材の地産地消を推進します。



豊かな自然環境の保全と継承

- ・荒廃森林の間伐や再造林の取組みを推進します。
- ・町有林の森林吸収量をJ-クレジット化し、売却益を森林管理や林業従事者育成に活用します。
- ・産官民学が連携し、「先導的グリーンインフラモデル」の具体化を推進します。



久山町の一人ひとり(町民・事業者)ができること

「カーボンネガティブ＆ネイチャーポジティブ」の実現や、温室効果ガス排出量の削減目標のためには、**行政だけでなく町民・事業者の皆さんも一丸となって、アクションを起こすことが必要不可欠**です。日常生活や普段の業務で取り組みやすい、身近なことから始めてみましょう。



町民の取組み例

- ・省エネ家電やLED照明への交換など、日常生活で無理なくできる省エネ行動を実践しましょう。
- ・住宅の新築や改修の際には、太陽光発電設備や断熱材の導入などを検討しましょう。
- ・自家用車を買替えるときには、電気自動車やハイブリッド車を検討しましょう。
- ・自家用車を運転する時は、アイドリングストップなどのエコな運転を心がけましょう。
- ・公共交通機関や自転車を活用しましょう。
- ・「カーボンネガティブ＆ネイチャーポジティブ」のイベントに参加しましょう。
- ・ごみの分別やリサイクルに取り組みましょう。
- ・町内で生産された農産物や木材、それらを使った加工商品を積極的に購入しましょう。



事業者の取組み例

- ・事業所の新築や改修の際には、太陽光発電設備やエネルギーマネジメントシステムの導入などを検討しましょう。
- ・事業所のエネルギー使用量の把握や省エネ診断の受診により、温室効果ガス排出量を減らすための計画を検討しましょう。
- ・社用車を買替えるときには、電気自動車やハイブリッド車を検討しましょう。
- ・社用車を運転する時は、アイドリングストップなどのエコな運転を心がけましょう。
- ・「カーボンネガティブ＆ネイチャーポジティブ」のイベントに参加しましょう。
- ・環境ラベルがついた商品を選択しましょう。
- ・森林所有者は間伐や下草刈りを適切に実施しましょう。